# あらスポフェスタ

#### 山本 公彦

今回で第6回を迎えたあらスポフェスタでは、6月25日(日) 荒川総合スポーツセンター大体育室にて、午前の部83人、午後の部65人が参加し、30度超えの外気温に負けない熱い開催となりました。ワクワクしながら元気に整列する子どもたちの純粋な目に、我々も心を踊らせていました。参加者



には、ボッチャ→モルック→シッティングビーチボール→卓球バレーを順番に体験してもらいました。ボッチャでは、その深みと子ども達の早い理解・習得を実感。モルックは、ボッチャの球体から一転、モルック棒を投げるという競技に若干戸惑いつつも、親子の「あと4点で勝ち!」という掛け声があったり、倒したスキットルの点数の計算を楽しむ子どもや悔しくて泣いてしまう子どもがいたりと、開始後すぐにモチベーションが上がっているのを感じました。シッティングビーチボールは難しそうでしたが、ラリーが続くと楽しさが表情に反映されているように思いました。卓球バレーでは、盛り上がった大人の笑顔を見て、子どもも連動するように楽しくなっていくのを感じました。優しく打つ子もいれば、フルスイングで打つ子も。たくさんの楽しい場面に携わることができました。



ボッチャ



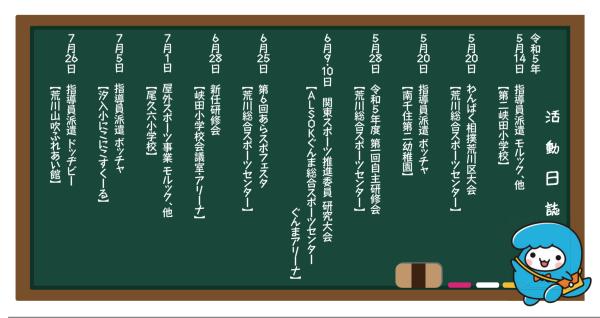
モルック





シッティングビーチボール

卓球バレー





▲荒川区スポーツ推進委員会 ホームページ

今後のお知らせや活動報告を 随時更新!

## 荒川区スポーツ推進委員だより



# ストレスフリー「楽しみながら上手くなる」

#### 荒川区スポーツ推進委員会 副会長 杤堀 喜信

先日ニュース番組の特集コーナーで紹介されていた、少年野球チームの指導方針に感銘を受けました。全国大会常連の滋賀・多賀 少年野球クラブは、数年前の保護者アンケートをきっかけに怒声罵声を禁止する指導に転換し、選手や保護者、指導者もストレスがな いチーム作りを始めたそうです。

まず印象にあったのはチームの掛け声。「最初はグー! じゃんけんぽん! いぇーぃ!」全員でじゃんけんをして、勝っても負けても一緒に喜ぶ、というもの。勝敗に関する価値観でしょうか。

次に戦術感。どうしたら「1 アウト。ランナー 3 塁」という状況がつくれるか、選手自身が考え、いくつもの答えを選手同士が出し合うという日常からのミーティング。実際の対外試合でも、監督の指示がなくても活かすことができていました。

最後に走り込みなどの基礎トレーニング。ゲーム感覚でボールを捕球する、ダッシュを楽しく繰り返す練習。気が付くと普通に走り 込むより距離を走っているそうです。

どうしても昭和に育ってきた世代には、根性論や追い込むことで精神・肉体を鍛え上げることが美徳に感じ、やがて大人になって社会に出たときにそれが役に立つ・立っている、と思っていることが多いのではないでしょうか?

指導者による興味を引く話術や練習を退屈させない工夫、ストレスをお互い感じないようにする環境作りが、スポーツ指導に携わる 我々のスキルアップに繋がるものと感じました。



荒川区スポーツ推進委員会のホームページ https://arakawa-suposui.com/

### 令和5年5月20日(土) わんぱく相撲 荒川区大会

浅井 茂

5月20日(土) 荒川総合スポーツセンターにおいて、わんぱく相撲荒川区大会が開催 されました。新型コロナウイルス感染症の蔓延で中止が続いた大会でしたが、昨年に続い て今年も多くの参加者を迎えることができ、元気な子どもの歓声がスポーツセンターに響 きました。



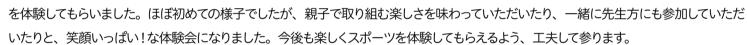
学年別、男女別の取り組みは背の低い方から順番に対戦をし、対戦相手が少数に絞られたところでリーグ戦形式にして、それぞれの 優勝者を決定しました。女子も男子も真剣勝負の熱戦に、見守る父兄も思わずこぶしを握り、マスク越しに大きな声援を送っていました。 このような盛り上がりの中、今大会の優勝者が決まり、大きなけがをされた子もなく、無事終了しました。

### 令和5年5月20日(土) 南千住第二幼稚園ボッチャ

増子 成枝

5月20日(土)、荒川区立南千住第二幼稚園より派遣依頼があり、スポーツ推進委員5 名が参加して、荒川区立汐入小学校の体育館にてボッチャ競技の説明・体験会を行いました。

当日は、38組の親子が参加。年少・年中組は「ボッチャでビンゴ」、年長組は「ボッチャ」





### 令和5年5月28日(日) 令和5年度 第一回自主研修会

今井 腎樹

5月28日(日)の令和5年度第一回自主研修会は、荒川総合スポーツセンター小体育 室にて行われました。新任委員の方も多く参加し、計画に沿い滞りなく終了しました。

実施競技種目の選定は、研修部会にて委員全員からの提案を踏まえて行いました。そして、





6月25日開催の「あらスポフェスタ」の競技種目である、ボッチャ・モルッ ク・シッティングビーチボール・卓球バレーの 4 種目を主体に、研修す ることになりました。研修計画策定の段階では、各競技種目に対する委 員の技術力や種目別習熟度などを踏まえ、参加者のチーム分けを決める ことになりました。さらに対戦チームの決定も、対戦相手が重ならない ように組み合わせるなど、自主研修ではあるものの、非常にきめ細やか に調整しているところに奥深さや熱意を感じました。 研修当日は、 研修 部員が種目別に担当となってルール説明を行い、あらスポフェスタ本番 での競技運営を、実戦を通して研修しました。特にボッチャ担当の新任 委員が熱く説明を行ったことが一番印象的で、頼もしいと感じました。

令和5年6月9日(金)・10日(土)

#### 関東スポーツ推進委員研究大会 群馬大会

田尻 直由美

6月9日(金)、10日(土)に行われた群馬大会は、大会テーマ「群雄であれ」 のもと ALSOK ぐんま総合スポーツセンターぐんまアリー ナで開催されました。

1日目は開会式・表彰式後、上武大学ビジネス情報学部スポーツ健康マネジメント学科の菅谷美沙都さんをコーディネーターに迎え、 また、パネリストとしては群馬県スポーツ推進委員協議会の蜂須会長・設樂副会長、3 人制プロバスケットボールチーム代表の大塚俊 さんが壇上に上がり、「新たな時代における地域スポーツの普及に向けて」のディスカッションが繰り広げられました。「スポーツ推進委

員の人材不足、地域スポーツ振興を担う後継者の育成」「大会運営、スポーツ指導だけではなく、 地域との連絡調整、地域スポーツ環境 | 「市区町村行政、総合型地域スポーツクラブとの連携 | 「部 活動の指導者変化しなど、さまざまな角度からのディスカッションでした。

2 日目の分科会は「ボッチャ」「モルック」「富岡世界遺産ウォーキング」のうち、「モルック」 に参加しました。全面芝生のふれあいグラウンドに16面が設置され、各面1チーム6人の3チー ム戦。合計 288 人の参加でした。関東のメンバーと情報交換をしながら、有意義な時間を過 ごすことができました。



## スポーツひろば

区内小中学校の体育館を夜間開放し、気軽にスポーツにふれる機会を提供しています。区内20会場で様々な 種目に無料で参加することができます。各会場には指導員がおり、初心者でも安心です。

参加をご希望の方は、ぜひ直接会場へお越しください。

**涌在** ※夏季休止期間・年末年始および祝日は休み

※入学式・卒業式その他学校行事などの都合で中止する場合があります

午後7時30分~午後9時30分 ※中学生以下は午後9時まで

区内在住・在勤・在学の方(小学生の方の参加は、毎回保護者の同伴が必要です)

※対象年齢は会場によって異なります。必ず下表をご確認ください

初めて参加する日に各会場で申込書を記入してください。※小・中学生は保護者同伴 受 付

参加費 無料

持ち物 室内用運動靴・運動のできる服装

## 会場紹介 ※実施種目は日によって異なります。

対象年齢:中学生以上(★は小学1年生以上が対象です)

※その他の会場は、こちらから ご確認ください⇒

EMEX.*
--------

種目	会場	曜日	実施種目
健康体力づくり	第五中学校★	月曜	ビーチボール、モルック、ボッチャ等
	第二瑞光小学校	金曜	ビーチボール等
	諏訪台中学校	金曜	ビーチボール、ストレッチ体操等
みんなで 健康づくり	尾久八幡中学校★	金曜	バドミントン、バレーボール等

-3-

-2-